

the Lion

THE LION TIMES 2025-2026

Vol.

3



Photo: 日本平から望む清水港と富士山



- 第72回地区年次大会報告
- 年次表彰クラブ一覧
- 334複合地区 第72回年次大会報告
- 地区ガバナー年次報告
- 地区ガバナー大賞・特別賞紹介
- 事務局だより

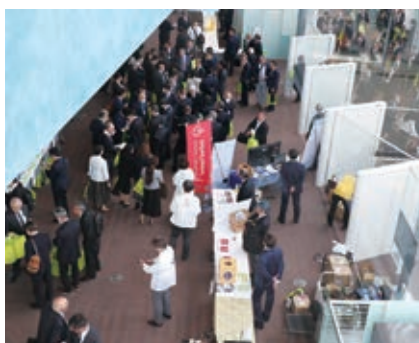
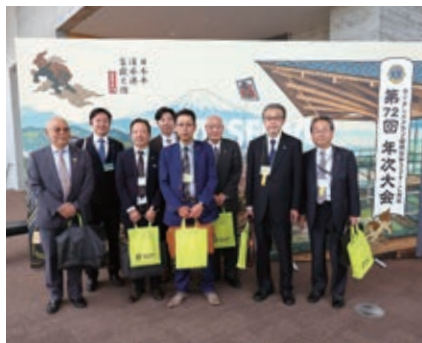
The 72nd Annual Convention

第72回地区年次大会報告

2026年4月19日（日）、静岡市・清水文化会館「マリナート」にて、第72回地区年次大会が開催されました。

今年度杉山節雄地区ガバナーが掲げたスローガン「We Serve 新たな奉仕に一步を踏み出そう」の集大成とすべく、ホストの2R1Z・5クラブでは、年度当初より準備をかさねてきました。大会当日は1,200名を超える参加登録者のもと、「代議員投票」「代議員会」「静岡城内一輪車クラブによるアトラクション」「大会式典」と滞りなく進行し、盛会のうちに無事幕を閉じました。

●大会会場ロビー風景



代議員会

代議員投票に先立ち「資格証明・議事運営」「指名選挙・国際理事支援」各委員会が開催されました。

「代議員会」では、杉山地区ガバナーを議長に、青野博志キャビネット幹事司会のもと、まず第1～第4議案についての投票結果が議長より発表され、続いて、高柳虎夫指名選挙委員長より、次期地区ガバナー、次期第一・第二副地区ガバナー選挙結果が発表され、すべての上程議案が承認されました。



杉山議長



有賀ガバナーエレクト挨拶



高柳指名選挙委員長

アトラクション

大会式典に先立ち「静岡城内一輪車クラブ」の皆さんによる、華麗でダイナミックな演技が披露されました。世界レベルの素晴らしい演技に、割れんばかりの大きな拍手が送られていました。



大会式典

大会式典では、青野キャビネット幹事・アシスタントとして徳増ないるさんが司会を務めました。杉山地区ガバナーの開会宣言、小林敏宏大会委員長の歓迎の挨拶に続き、地区ガバナー年次報告と代議員会決議結果報告と進行了しました。

次に、来賓の平木 省静岡県副知事、難波喬司静岡市長の祝辞の後、有賀公哉ガバナーエレクトが1 R 1 Z・7クラブのメンバーと共に登場しました。次期地区役員、次期大会開催地の紹介等につき、地区ガバナーによる年次表彰が行われ、第72回地区年次大会は成功のうちに幕を閉じました。



平木副知事・難波市長祝辞



次期齊藤キャビネット幹事・中村会計の紹介



●年次表彰風景



地区ガバナ一年次報告

ライオンズクラブ国際協会 334-C地区 地区ガバナ 杉山 節雄

本年度、334-C地区は、スローガン「We Serve 新たな奉仕に一步を踏み出そう」のもと、時代の変化と地域社会の多様な課題に向き合いながら、ライオンズクラブの原点である奉仕の精神を改めて見つめ直す一年となりました。地区ガバナーとして地区運営をお預かりする中で、私は常に「今、私たちに何ができるのか」「次の一步を踏み出す勇気を、どのように形にするのか」を自らに問い続けてまいりました。

重点活動の第一は、「クラブ運営と支援の強化」であります。ミッション1.5の目標達成に向け、会員拡大とクラブ活性化を地区全体の最重要課題として位置づけ、リジョン、ゾーン、そして各クラブの皆様と力を合わせて取り組んでまいりました。その結果、2新クラブと4クラブ支部の結成を実現し、多くの新会員をお迎えすることができました。新クラブの一つは企業の力を社会貢献へと結びつける企業内クラブ、もう一つは若い世代の力を地域社会の奉仕へとつなげるキャンパスクラブであり、いずれも時代の変化と社会のニーズに対応した新しい形のライオンズクラブとして誕生いたしました。これは地区の未来を切り拓く確かな一步であり、ライオンズの志が次世代へと確実につながっていく証であります。

また、国際的奉仕を支えるLCIFへの支援拡大にも注力し、目標寄付額30万ドル、企業寄付15口を掲げ、各方面にご理解とご協力をお願いしてまいりました。その結果多くの会員並びに企業の皆様から温かいご支援を賜り、地区内における100/100寄付達成クラブも増加するなど、LCIFへの理解と協力の輪は着実に広がっています。厳しい経済環境の中にあっても志を共にしてくださった皆様に、心より深く感謝申し上げます。

さらに、会員一人ひとりが誇りと自信をもって奉仕活動に取り組めるよう、クラブのサポート役となる人材を育成するためのガイディングライオン資格取得研修を実施するとともに、これからのライオンズ活動を担うリーダー育成を目的とした次世代育成研修会を開催し、人材育成とクラブ運営力の向上に努めてまいりました。また、地区運営の効率化と情報発信力の強化を図るため地区ホームページの刷新に取り組み、地区内の情報共有の充実と社会への広報機能の向上にも取り組んでまいりました。

重点活動の第二は、「社会支援と地域貢献の充実」であります。従来の奉仕事業を大切に継承しつつ、地域の実情に即した新たな取り組みに挑戦することを本年度の柱といたしました。地区統一フードドライブは、多くの市民や関係団体の共感を得て実施され、困難な状況下にある家庭や子ども食堂への支援として確かな成果をあげることができました。

また、災害が頻発する現代において、ライオンズクラブが果たすべき役割を明確にするため、災害時支援を見据えたアラート体制、すなわち災害支援組織の構築にも着手いたしま

した。これは平時から備え、いざという時に迅速に行動できる「頼りになるライオンズ」を目指す取り組みであります。併せてPR活動の強化にも力を注ぎ、ライオンズクラブの活動と想いを広く社会に伝えることで、社会的認知度の向上にも努めてまいりました。

本年度の活動成果の詳細につきましては、総括報告をご参照いただければ幸いに存じます。

本年度の歩みは、決して地区ガバナ一人で成し得たものではありません。地区役員の皆様、ゾーンチェアパーソンの皆様、そして何より日々地域に寄り添い、黙々と奉仕を続けてこられたクラブ会員お一人おひとりの力の結集であります。

本年度、当地区は68クラブ、約2,800名の会員を擁する地区として、それぞれの地域において着実に奉仕活動を展開してまいりました。「We Serve 新たな奉仕に一步を踏み出そう」というスローガンのもと、目の前の課題に気づき、勇気をもって一步踏み出すこと、その積み重ねこそがライオンズの奉仕であると、この一年を通じて強く実感いたしました。

結びに、本年度の成果と経験を次年度へ確実につなぎ、334-C地区がこれからも地域社会に必要とされ、信頼され、そして愛される存在であり続けることを心より願い、ガバナ一年次報告といたします。一年間にわたる温かいご支援とご協力に対し、すべてのライオンズの皆様に心より感謝申し上げますとともに、皆様のWe Serveの精神に深く敬意を表します。



2025～2026年度 地区活動総括報告

2025年7月1日～2026年2月28日

1. アクティビティ集計表

労力奉仕	延時間数	金銭奉仕	総金額
645件	18,298時	951件	114,834,669円

2. 会員異動状況

2025年7月初会員数	入会者数	退会者数	増減	2026年2月末会員数	平均出席率
2,667人	193人	82人	+111人	2,778人	76.7%

3. YCE交換実績

区分	受入	派遣	合計
夏季	7人	1人	8人
冬季	1人	0人	1人
合計	8人	1人	9人

4. 献眼・献腎・献血実績

献眼者数	献腎者数	献眼登録者数	献血実績		
22人	0人	303人	200ml	400ml	成分
			369人	4,833人	530人

5. LCIF寄付実績

クラブ寄付金額	MJF寄付金額	LCIF寄付金総額
4,862,584円	52,126,442円	56,989,026円

※左記金額には、アジア地域豪雨被災地支援指定寄付「2,432,000円」と企業寄付金を含む。

6. その他地区キャビネットの活動として特記すべき事項

1) 2025年10月12日(日) 地区67クラブ統一奉仕の日「フードドライブ」実施

総重量4.3トンの食料品等を「静岡県フードバンクふじのくに」に寄贈。

2) 今年度LCIF企業寄付は2月末時点で14社より1,400,000円のご協力を頂いた。

3) 2025年12月 アジア地域豪雨被災地支援指定寄付2,432,000円をLCIFに指定寄付送金。

4) 2026年3月11日(水) 第72回地区年次大会記念チャリティーゴルフ大会収益金をLCIFに寄付。

参加者238名により実施したチャリティーゴルフ大会収益金1,009,565円をLCIFに寄付。

第72回地区年次大会記念チャリティーゴルフ大会

第72回地区年次大会記念チャリティーゴルフ大会は、2026年3月11日(水)、リバー富士カントリークラブにて、多くのメンバー参加のもとに盛大に開催されました。

当日は、富士山が美しく見える絶好のゴルフ日和となり、総勢220名を超える参加者は3コースに分かれて、ハーフラウンドにてプレーをしました。

各コースの優勝者はL渡邊一誠(下田LC)・L田島智晴(清水LC)・L良知義久(静岡葵LC)でした。

また、チャリティー・ボックスにお寄せいただいた寄付金は、LCIFに送金させていただきました。多くのご協力、誠にありがとうございました。



Annual Awards Clubs

年次表彰

第72回地区年次大会年次表彰受賞クラブ一覧表 (クラブ名順不同)

- ◆地区ガバナー大賞 (2クラブ)
静岡LC / 沼津千本LC
- ◆地区ガバナー特別賞 (2ゾーン・1クラブ)
1 R1Z7LC (浜松・浜松葵・浜松東・浜松南・浜松リバティ・浜松グリーン・浜松さくらLC)
2 R3Z4LC (藤枝・島田・焼津・榛南LC) / 長泉LC
- ◆会員維持賞 (11クラブ)
清水日本平LC / 焼津LC / 静岡リバティLC / 富士中央LC / 長泉LC / 熱海LC / 東伊豆LC
西伊豆LC / 函南LC / 伊豆長岡LC / 天城湯ヶ島LC
- ◆会員増強賞 (27クラブ)
浜松LC / 浜松東LC / 磐田LC / 森町LC / 掛川LC / 御前崎LC / 静岡LC / 静岡橘LC / 静岡芙蓉LC
藤枝LC / 焼津LC / 榛南LC / 静岡リバティLC / 沼津千本LC / 富士岳南LC / 御殿場LC / 小山LC
長泉LC / 熱海LC / 下田LC / 西伊豆LC / 三島LC / 修善寺LC / 大仁LC / 伊豆長岡LC / 中伊豆LC
菰山LC
- ◆マーケティング賞 (5クラブ)
沼津香陵LC / 沼津中央LC / 富士宮LC / 富士宮中央LC / 伊東LC
- ◆SNS推進賞 (3クラブ)
藤枝LC / 沼津LC / 三島LC
- ◆青少年健全育成賞 (8クラブ)
浜松LC / 袋井LC / 清水日本平LC / 静岡駿府LC / 沼津LC / 富士タカオカLC / 伊東LC / 三島LC
- ◆YCE賞 (10クラブ)
浜松南LC / 湖西LC / 三ヶ日LC / 静岡駿府LC / 静岡けやきLC / 沼津LC / 沼津香陵LC
沼津駿河LC / 富士岳南LC / 東伊豆LC
- ◆献眼・献腎・献血運動推進賞 (6クラブ)
小山LC / 御殿場LC / 裾野LC / 浜松東LC / 静岡葵LC / 静岡LC
- ◆環境保全推進賞 (5クラブ)
御前崎LC / 静岡橘LC / 沼津LC / 御殿場LC / 伊豆長岡LC
- ◆小児がん・糖尿病対策推進賞 (5クラブ)
浜松葵LC / 御前崎LC / 長泉LC / 富士宮LC / 大仁LC
- ◆LCIF・MJF賞 (10クラブ)
浜松LC / 静岡LC / 静岡葵LC / 静岡芙蓉LC / 藤枝LC / 焼津LC / 榛南LC / 沼津中央LC
富士宮LC / 富士宮中央LC
- ◆LCIF・クラブ寄付賞 (20クラブ)
浜松LC / 浜松南LC / 磐田LC / 森町LC / 大東LC / 静岡LC / 静岡橘LC / 静岡青葉LC
静岡芙蓉LC / 焼津LC / 榛南LC / 静岡けやきLC / 沼津千本LC / 沼津香陵LC / 沼津中央LC
沼津駿河LC / 富士吉原LC / 富士岳南LC / 小山LC / 富士宮LC
- ◆新たな奉仕挑戦賞 (27クラブ)
浜松LC / 浜松南LC / 浜松グリーンLC / 森町LC / 浜北LC / 三ヶ日LC / 掛川LC / 静岡橘LC
静岡芙蓉LC / 清水LC / 清水羽衣LC / 蒲原LC / 静岡弥生LC / 静岡翼LC / 沼津香陵LC
沼津駿河LC / 富士岳南LC / 富士中央LC / 富士マウントLC / 裾野LC / 富士宮LC / 河津LC
三島LC / 土肥LC / 伊豆長岡LC / 三島泉LC / 菰山LC
- ◆クラブ会報・ホームページコンテスト (3クラブ)
富士宮LC / 菊川LC / 磐田LC

※以上、15賞・2ゾーン・143クラブ

地区ガバナー大賞紹介



ガバナー大賞を受賞

2R・1Z 静岡LC

静岡ライオンズクラブでは、本年度「会員1割増」を目標に掲げ、純増12名を目指して活動してまいりました。その結果、4月末時点でクラブ正会員の純増は7名を達成いたしました。

さらに、新たな取り組みとして「静岡すばる支部」を結成し、若い世代9名でスタート、そのうち女性会員が5名を占めるなど、「若さ」と「女性」というWYPTのミッションを力強く推進することができました。

また、2月には「静岡ライオンズクラブダイヤモンド支部」を結成し、11名（うち転籍3名）の会員を迎え入れました。

これらの成果により、クラブ本体の純増7名に加え、すばる支部9名、ダイヤモンド支部8名（転籍3名除く）を合わせ、合計24名の会員純増を達成することができました。

さらに、新たなスペシャルティクラブとして「静岡WIT H協力会ライオンズクラブ」を設立し、スポンサークラブとして支援、1月17日のチャーターナイトには21名のチャーターメンバーでの船出となりました。これにより、2R1Zに6つ目のクラブが誕生いたしました。

これらの取り組みにより、ガバナー目標である「会員1割増」と「新クラブ1つの結成」という目標を達成いたしました。加えて、キャンパスクラブとして「常葉大学草薙キャンパスクラブ」の結成も進め、4月1日の第1例会にてスポンサークラブとして承認され、現在約21名の学生登録を準備しております。

2つの支部、1つのスペシャルティークラブ、1つのキャンパスクラブの発足により、静岡ライオンズクラブはさらなる発展の基盤を築きました。本年度、杉山統彦会長の掲げる「やる気・本気・元気！」のスローガンのもと、今後もガバナー輩出クラブとしての経験を活かし、模範となるスポンサークラブを目指し、さらなる成長と地域貢献に努めてまいります。

★常葉大学草薙キャンパス“Link”ライオンズクラブは2026年5月15日に結成されました。

Dist. Governors Award

地区ガバナー大賞紹介



地区ガバナー大賞 授賞

3R・1Z 沼津千本LC

コロナ禍で55周年事業が中止となり、久しぶりの周年事業に全メンバーが一年をかけてCN60周年の企画と準備に奔走しました。結果として、青少年健全育成を中心として、幾多の事業を実施することが出来ました。

記念アクティビティとして20年間継続・実施してありました青少年表彰制度「千本賞」を初期の目的達成と判断のもと随時開催となりましたので、新規事業として高校生を中心とした障害者と健常者の運動会「キラキラ★ドーン」をスタートさせ、好評を得ることが出来ました。

その他では「きすなプロジェクト」として市内全小学校の児童待機室に希望された備品を贈呈し、環境改善に役立つことが出来たかと思っています。また、同一地区内で発生する災害に迅速に対応するための災害援助基金を設立し、初期援助を資金面でバックアップする準備を備えました。

継続事業のフォローアップとしては、文化事業として地元高校生の意見発表後援、地元関連文化人の顕彰碑の手入れ、碑前祭の継続実施、スポーツ後援としてミニバスケットボール大会・女子ソフトボール大会の後援、ボーイスカウト及びガールスカウトの活動助成、街頭献血活動の継続実施があげ

られます。

また、以前実施しました遊歩道標石の手入れ、御用邸記念公園の展示物の手入れ、植樹の手入れ清掃等、歴史を重ねたクラブならではの事業も着実に実施しております。

LCIFの100/100寄付も達成しており、このような地道な活動を総合的に評価頂いた結果が今回のガバナー大賞に繋がったものと、メンバー全員が受賞を喜びながらも奉仕の気持ちを新たにしているところです。

60周年の記念すべき年に有難うございました。



地区ガバナー特別賞紹介



ライオンズクラブ ふれあい合同フェスタ inソラモ2025

1R・1Z 7LC (浜松・浜松葵・浜松東・浜松南・浜松リパティ・浜松グリーン・浜松さくら)

浜松には7つのライオンズクラブがあります。それぞれが発足以来、奉仕の理念を掲げて常に地域のニーズに応える奉仕を考え実行しております。同時に私たちは地域奉仕のみならず、世界最大の奉仕団体ライオンズクラブの一員として、LCIFへの協力をはじめ、世界に目を向けた奉仕にも取り組んでいます。

そこで今回のフェスタは、国際協会に掲げられているグローバル重点項目8項目に視点を置き1R・1Z300人強のメンバーすべてにこの意識を共有すること・学びを深めることをひとつの目的として開催いたしました。

さらには、市民へライオンズクラブの活動理念の理解を促すPRをし、会員拡大へのアプローチとすることと、ミッション1.5の意識をゾーン内で共有することにも意義を持って行われました。

また、これまで2年連続で浜松LCで行われていた、このフェスタのテーマであった「障がい者支援・弱者支援」についても引き続きプログラムにその要素を組み込みました。

■開催：2025年10月18日（土）

11：00～15：30 浜松駅前広場ソラモ

●センターステージを設置

浜松市長、ゾーン・チェアパーソン、各クラブ会長挨拶並びに、障がい者団体によるダンスパフォーマンス、各団体講演、ライオネット児童合唱団、盲導犬デモ、副地区ガバナーとタレントによるLCトークを行った。

●ソラモ広場に7つのブースを設置

クラブごとに日頃継続している地域奉仕を中心に展示をし、市民に身近な奉仕を知っていただいた。

各ブース内では、共に協働奉仕を行っている外部福祉団体（小児がん患者・家族支援団体：まるここクラブ、視力障がい者支援団体：六星ウィズのほか、各障がい者支援組織など）とブース共有をして、福（副）製品の販売を行い、各施設の運営に寄与。

また、各外部福祉団体は各クラブで担当をしたグローバル重点8項目の内、1～2の項目に関連する団体と共同ブースとしている。

●献血車…当日献血協力者54名

7LCメンバーと市民が共に奉仕に向き合う有意義な一日となり、ゾーン内の融和が図られました。

Dist. Governors Award

地区ガバナー特別賞紹介

台風15号 牧之原市・吉田町
竜巻災害支援

2R・3Z 4LC (藤枝・島田・焼津・榛南LC)

台風15号の影響により2025年9月5日10時52分、静岡県中部に竜巻注意情報が発表され、同日12時50分頃、牧之原市と吉田町で竜巻が発生しました。13時55分に避難指示が出され、15時50分に避難指示解除となりました。全壊を含む住宅被害は約2,000棟、牧之原市では、最大9,510世帯が停電するなど、我々のゾーン内で想像を超える甚大な被害を受けました。

9月7日に、両市町にボランティアセンターが開設され、榛南ライオンズクラブと、島田ライオンズクラブが常駐し、支援活動が開始されました。

発生翌日に被災地を見て、被害の大きさに言葉を失いました。特に牧之原市細江地区の惨状は凄まじく、倒壊した家屋や、なぎ倒された電柱が幾つもあり、手のつけられない状態でした。厳しい残暑の中でも、住民の方々は黙々と復旧作業に取り組んでおり、その姿に胸を打たれました。

ボランティアセンターには、県内外から多くのボランティアが集まり、ライオンズクラブの仲間達も各地から駆けつけました。開所当日、道に迷っていた私を東京のメンバーが案内してくれるという場面もありました。当初復旧に10日以上かかるとされた停電も、他県からの応援により、なんと3日で復旧し、多くの県外ナンバーの車に支援の力強さと助け

合いの精神を感じました。

また、救援物資は、今必要としている物が届く体制が整っており、物資の重複や無駄がなく、組織としての連携の凄さを実感しました。

吉田町での瓦礫等の廃棄物運搬では、急な要請にも関わらずゾーン内4クラブから多くのメンバーがトラックで駆け付け、迅速に作業することができました。

3か月毎日常駐したボランティアセンターでの支援も落ち着きを見せ、今回の災害を通じて人の温かさと、ライオンズクラブの強い結束力を改めて実感することができました。



地区ガバナー特別賞紹介



地域社会に密着したクラブ活動

3R・3Z 長泉LC

私たち長泉ライオンズクラブでは今年度、地域社会に密着した奉仕活動を目指してクラブ活動を進めてまいりました。

その一環として、2023年11月4日に世界かんがい施設遺産に登録された「本宿用水」のPRを兼ねた「本宿用水どろんこ祭り」に2025年よりライオンズクラブとして参加し、地域の活性化や地域の皆さんとの交流を一層深める活動を行ってきました。

本宿区民の高田昌直さんの田んぼを活用し、泥RUN・泥尻相撲・泥ドッチボールなどの競技を町内外から集まった多くの子どもや大人が皆、泥まみれになって楽しく競技を行っていました。

本宿しゃぎりなど地域の活性化や地域の歴史・文化・伝統を次世代に継承するイベントに長泉LCとして積極的に協力しクラブ活動のPRや会員募集の広報活動を併せて行い会員増強に結び付ける活動を行っています。

今回、地元の皆様をはじめ、ボーイスカウトや長泉消防団など町内他団体との連携が強化され、今回の活動をきっかけに田んぼを提供してくれた高田さんをライオンズクラブのメンバーとして迎え入れる事が出来ました。

当クラブではその他に第10回目を迎えたライオンズクラブ主催のライオンキッズデーを開催し「昭和の遊び」を通じ

子どもたちに対して昭和の遊び体験やヘアードネーションへの協力要請、薬物乱用防止の啓蒙活動なども併せて実施しています。

その他、献血運動、環境美化運動推進協議会のアマゴ放流事業への参加や長泉稲荷神社のどんど焼きへの参加や、町内の子ども食堂へのお米の支援など地域社会との結びつきを強化する活動を行っています。

今後ともライオンズクラブの知名度アップや会員増強へと結びつく活動を地域に広げていきたいと考えています。



Report

334複合地区 第72回年次大会報告

前夜懇親会

2026年5月23日（土）18時～、静岡市・ホテルグランヒルズ静岡にて「334複合地区第72回年次大会・前夜懇親会」が開催されました。

前夜懇親会は、334複合地区の現・次期役員並びにホストである当地区の現・次期キャビネット役員等200名の参加によって開催され、参加者の親睦を深めると共に、時代に応えたライオンズクラブの奉仕活動に繋げることを目的に開催されたもので、静岡ライオンズクラブメンバーによる「木遣り」「地酒の鏡割り」「ジャズ演奏」などが披露され、参加者は和やかな雰囲気の中、親睦を深めていました。



静岡LC「木遣り」



現・次期ガバナー協議会・大会役員紹介



鏡割り



ジャズ演奏



当地区現・次期五役のローア



会場風景

代議員会

5月24日（日）、静岡市・グランシップに於いて、334複合地区第72回年次大会が開催されました。当334-C地区ホストとしては10年ぶりの複合地区大会式典で（前大会式典はコロナ禍により中止）、複合地区内5準地区より1,900名の参加者により盛大に開催されました。

当日は11時から登録受付が開始され、受付前では静岡茶がふるまわれました。

「代議員会」は13時より開会、小口恒樹複合地区管理委員長の司会により、浜一平ガバナー協議会議長の開会宣言・開会ゴングでスタートし、大会役員が紹介されました。

上程されたすべての議案が可決・承認され、無事幕を閉じました。



資格証明・決議委員会

大会式典

「大会式典」は14時のオープニング映像で静岡県内各地区の紹介がなされたのち、複合地区役員の入場、杉山節雄大会会長の開会宣言により開始されました。

来賓・参加クラブの紹介、橋本勝策大会委員長の歓迎の挨拶、ガバナー協議会議長の年次報告、鈴木康友静岡県知事と難波喬司静岡市長の祝辞に引きつづき、山田實紘元国際会長のビデオメッセージと仁科良三国際理事挨拶、杉山決議委員長の決議報告と続き、ガバナー協議会次期議長と各地区ガバナーエレクト並びに副地区ガバナー等の紹介がなされ、議長キーの引継ぎの後、次回大会開催地はE地区・長野県軽井沢町と発表されました。

藏 大介元国際理事によるローア、杉山大会会長の閉会宣言により式典は閉会しました。



司会の青野キャビネット幹事とアシスタント内山絵里加さん



杉山大会会長



浜ガバナー協議会議長



当地区次期役員の紹介



橋本大会委員長



鈴木静岡県知事



難波静岡市長



山田元国際会長



仁科国際理事



森川次期議長と藏元国際理事

ラッキーカード抽選会

今大会では、大会当日にご帰宅いただきたいとの杉山大会会長と橋本大会委員長の思いのもとに、例年開催されてきた晩餐会とせずに「ラッキーカード抽選会」が開かれました。

総額300万円+大会会長賞・大会委員長賞という豪華賞品により、抽選会場は熱気と歓喜に包まれ、例年以上に多くのメンバーが最後まで会場に残る中、複合地区年次大会は盛会の内に幕を閉じました。



Information

事務局だより

2025～2026年度 第4回キャビネット会議報告について

2025～2026年度最終となる第4回キャビネット会議が3月18日（水）静岡市において開催されました。主な事項は次の通りです。

報告事項；第72回地区年次大会年次表彰クラブについて

審議事項；1. 次期地区役員・クラブ会長・幹事セミナー実施について

2. 次期第二副地区ガバナー立候補者承認について

3. 第72回地区年次大会議案について

4. 第72回地区年次大会スケジュール他について

※詳細は、第4回ガバナー諮問委員会用に配布した「重点項目」と、地区ホームページ（会員専用）にてご確認ください。

2025～2026年度 夏季YCE派遣青少年

湖西ライオンズクラブ・豊田琢司さんがドイツのユースキャンプに参加予定です。

また、この7月下旬には夏季来日生2名（フランス男子・ドイツ女子各1名）が当地区に滞在します。ホストクラブは浜松南・静岡リバティLCです。ご協力に感謝申し上げます。

次期地区役員・クラブ会長・幹事セミナーについて

4月23日（木）静岡市・グランシップにて190名の参加により開催されました。

全体会にて、有賀公哉ガバナーエレクトから「次年度の基本方針」他について詳細な説明がありました。その後①次期地区役員②次期クラブ会長③次期クラブ幹事、各分科会にて職務等についての研修が実施されました。次期地区役員、クラブ役員各位のご活躍を期待申し上げます。

2026年1月～2026年5月 物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
1月29日	L甲 賀 昭七郎	島 田LC
1月30日	L坂 本 全 人	小 山LC
2月11日	L内 藤 榮 己	蒲 原LC
3月15日	L吉 田 昇	清 水LC
3月22日	L杉 山 純 哉	沼 津LC
4月 3日	L山 本 保 男	御 殿 場LC

ご逝去を悼み、ご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

一年間、地区誌「The Lion」をご愛読いただき誠にありがとうございました。

本年度は地区スローガン「We Serve 新たな奉仕に一步を踏み出そう」のもと、各クラブが地域に根ざした奉仕活動を展開され、多くの笑顔と感動が生まれた一年となりました。

また、各クラブの皆様には毎月のマーケティングレポート提出にご協力いただき、心より感謝申し上げます。マーケティング委員の1R L田村誠宏、2R L中込裕一、3R L塩見政美、4R L遠藤孝司の各委員には、レポート内容の確認・集計、表彰選考、Lion Portal普及など多岐にわたりご尽力いただきました。

今年度は地区ホームページのリニューアルやInstagram・Facebookによる情報発信など、委員会としても新たな一步を踏み出した一年となりました。一枚の写真、一つの投稿が奉仕の輪を広げ各クラブの会員増強の一助になればと願っております。

一年間、皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

マーケティング・L情報・テクノロジー委員長 服部 伸也